



MANAVÍS TÍMES

VOL.05

心地よい時間、
すこやかな美しさがとどきますように。

MANAVÍS

株式会社マナビス化粧品

2023 年 4 月、新しい期がスタートしました。

3 月にはコロナによるいろいろな規制も緩和され、すでに世の中は堰を切ったように一気に動き出しているという実感を持たれている方も多いのではないかと思います。

もちろんそれは世の中だけの話ではありません。私どもマナビス化粧品も、1 月から手探りで開始した MSC セミナーを加速させ、初めての開催となる地域も加えながら、精力的に展開をしているところです。

そのような中で迎えた新しい期に、コロナ禍という制約から解き放たれた会員の皆さんの活動が、より一層活性化できるようにと考えた、新しい試みとなるキャンペーンをご案内いたします。



毎月初めに MSC アプリでメッセージを配信している兼子社長。この 4 月のメッセージでは、新しくなったキャンペーンへの思いを語っている。ぜひ右の QR コードを読み取って、本誌と併せてご覧いただきたい。

「ようやくコロナが明けますね。ここからです。」と笑顔で話し始めた兼子社長。その笑顔の裏には、これまでとは一線を画す「マナビスらしさを大切にしたい」という考え方で練られた新たなキャンペーンの数々に対する期待感があふれていた。

■昨年度の壮大な準備の年を経て

昨年一年間を振り返りますと、ショッピング会員や再販の一部解禁といった、新しい販路の拡大を会員の皆さんにご提供できた年度だったと考えています。アルカディアという新プログラムもそうですが、そういった意味では、1 年間をかけて新しい販路やいろんな選択肢を準備できた 1 年になりました。そうしますと、会社としては、それらの新しい制度をより丁寧に説明させていただき、もっと皆さんのご理解をいただくことがこれからの大切な役割だと考えています。

例えばショッピング会員であれば、「こういう方に向いていますよ」といった具体的なレベルで認知を上げていくことで、多くの方が活用しやすく、また、結果として多くの仲間を増やすことができと思っています。概要書面をお渡しして説明し新規登録するといった今までの方法は、お仕事でマナビス活動をされる方は当然そうしなければいけないわけですが、「愛用だけでいい」とおっしゃられる方には、ショッピングでもいいでしょうし、再販制度を使ってもいいわけです。

これがマナビスだけの特別ルールかというと、同業他社は普通にやっていることですし、ショッピング制度はいわゆる通販サイトのような、マナビスの通販クラブと考えるなら、周知が進めば、

もっと入りやすく、使いやすくなっていくのではないかなと考えています。このような使い分け方を、まだまだご案内しきれていないとすごく感じています。

ホームページも同様で、もともとマネージャーや会員の皆さんのお力をお借りして、ご紹介いただいて初めてショッピングが成立するという作り方をしています。そのため「私たちはこんな会社です」ということが伝わるように作っていますが、ショッピング会員や再販売向けにはなっていません。

会員の皆さん、スキんケアクラブの一人ひとりが主人公であることに変わりはありませんし、その部分は変わってはいけなく考えていますので、新しい選択肢を視野に入れたホームページの改修は、会社側のチェンジアンドチャレンジになると考えています。メンバーズ会員やショッピング会員など、会員の方々の幅が広がっていくならば、ホームページももっと商品に寄せてもいいでしょうし、そこは会社が変わっていかねばいけないと、進めながら感じているところです。

■リスタートをサポートする新しい取り組み

ようやくマスクが外せるので、もう一度動こうよ！というときです。そのためにも、会社として

その活動を下支えできるようにしたいといういろいろと考えています。例えば、「初回登録送料無料キャンペーン」で入会のハードルを少しでも下げようというのも、下支えの一つです。また、6 月末まで展開する『サックスキャンペーン』も、今までにやったことがないキャンペーンです。

これまでのような、ハンドケアセットやフォーミング ボディソープは「買ってくれたらこれをプレゼントします」という、会社の意思じゃないですか。新商品のプロモーション的な意味合いもあるわけです。でも、今回のキャンペーンでは、1 個相当分のポイントをプレゼントとなりますので、皆さんが自由に商品を選んでいただけるという初めての試みです。ポイントで実質無料だから、いつもの商品を買いつくそうとか、今まで使ったことがないものを試してみようということ、ご自身で選んでいただけるという点で、皆さんが主人公になれると考えています。

つまり、ポイントの活用方法は、主人公である皆さんがお決めくださるというように変えます。『サックスキャンペーン』や『応援キャンペーン』は、今までのプランはそのままに、ポイントを活用して、プラスアルファの形で還元させていただくキャンペーンですので、ぜひそれを活動や自分磨きに活かしていただきたいと考えています。

■“皆さんが主人公”こそがマナビスらしい

皆さんが主人公という意味では、プラネットの皆さんからの貴重なアドバイスもいただき、報奨旅行の在り方も変えます。従来は「何万ポイント

以上で沖縄に行こう！ハワイに行こう！」ということでやっていましたし、これは同業他社ならどこでもやっている王道のやり方でした。これはこれで、素敵な方や他のエリアの方とお会いできる、行ったからこそ会えるというのがありますが、行けるのはマネージャーだけでした。ジュピターやアースの方、あるいはマネージャーを支えてくださっている方にとっては、関係ないとはいいますが、ややもするとマネージャー向けという側面がありました。

今回のキャンペーンでは「グループみんなでどこに行こう！」というのが合言葉になるのかな、このほうがお声がけしやすいんじゃないかなと考えました。これからの時代は「個の時代」といわれていますが、それには合うだろうと。マネージャーグループ 1 つひとつを「個」と考え、そのグループごとに、皆さんで行きたいところに行こう！という考え方でやってみることにしました。

皆さんの地元での活動という視点で考えると、ランクに関係なく普通に会話したりお食事をしますよね。マネージャーが年下であれば、先輩の方が「今日は私が出しとくから」というのは普通にあると思います。スキんケアクラブの中で考えると、お仕事でやっている方と愛用者では立場の違いはありますが、本来はフラットな関係のはずです。みんなで行こう！となれば、アースやジュピターの方が、年下のマネージャーの背中を押してあげてもいいし、年長のマネージャーであればリーダーシップを発揮して、みんなで行こうね！と鼓舞してもいいし、グループごとに色があると思っています。『ご縁を大切にしよう』という理念をもとに考えると、本来はこうあるべきだとも思っています。

■シンプルで楽しく全員が楽しめることを

コロナ明け、会員の皆さんが、いかに和気あいあいと活動を再始動できるか？というテーマで突き詰めた結果、全員にとって分かりやすく、シンプルに、楽しんでチャレンジできるように考えたのが今回のキャンペーンです。たとえば『サックスキャンペーン』は「5 個買ったら 1 個分のポイントもらえるよ！」っていうだけですし、『スターターセットキャンペーン』も「お好きなものを 1 つもらえるよ！」なので、とてもお声がけしやすいと思っています。しばらく疎遠になっていた方や、入会をどうしようか迷っている方にもお声がけしやすくなると思います。また、この声のかけやすさを活用して実績数を伸ばしたらプラスアルファになるのが『応援キャンペーン』です。多くの方に声をかけられれば、ランクアップする方も出てきやすくなるでしょう。こういった施策こそが、会社ができるサポートだと考えて実施いたします。

とてもシンプルでお声がけしやすいので、ぜひ日々のマナビス活動に活かしてください！

新年度 4 月からのキャンペーン概要

Thanks Campaign

サックスキャンペーン

1 回のご注文が実績数 5 以上の方に！

翌月 10 日までに 1 個相当分のポイントをプレゼント！！

U ランクの方
4,000 ポイント！

E ランクの方
3,500 ポイント！

J ランクの方
3,000 ポイント！

例) U ランクの A さんが 4 月に 2 回ご注文の場合
4 月 5 日に実績数 5 をご注文→4,000 ポイント
4 月 20 日に実績数 10 をご注文→4,000 ポイント

5 月 10 日に
8,000 ポイント
プレゼント！

Support Campaign

応援キャンペーン

ジュピター E 応援キャンペーン

期 間	2023 年 4 月 1 日～2023 年 6 月 30 日
内 容	期間中グループ購入実績合計数が 60 以上で 10,000 ポイント贈呈
達成条件	期間中、毎月の自己購入商品の実績数が 1 以上あること

ジュピター J 応援キャンペーン

期 間	2023 年 4 月 1 日～2023 年 6 月 30 日
内 容	期間中グループ購入実績合計数が 180 以上で 30,000 ポイント贈呈
達成条件	期間中、毎月の自己購入商品の実績数が 3 以上あること

ご新規
入会者様
限定！

スターターセット キャンペーン 2023

お得を
活かして
ぜひ
ご案内を

Starter Set

432

- ① マナビス 薬用スキんウォッシュ
- ② マナビス 薬用スキんマスク
- ③ マナビス 薬用エモリエントローション
- ④ マナビス 薬用レストアジェル
- ⑤ マナビス 薬用リンクルジェル

合計 6 商品で

＝ 24,150 円(税込)

お好みの
1 商品



望まれるならどこにでも出かけて行って
マナビスをもっともっと盛り上げていきたい

生駒 安子さん

生駒安子さんは、遠くからでもその明るい人柄が伝わってくるような、そんな人だ。南国宮崎のイメーシそのものと言っていいかもしれない。30代で離婚し、1人で3人の男の子を育て上げて、ようやく53歳になる。子育ても終え、気力も充実して、今もっともエネルギーに活動するマネージャーの1人として注目されている。

■マナビスで3人の子育て

生駒さんとマナビスの出会いは14年前に遡る。当時、生駒さんは16歳、14歳、11歳になる男の子3人を育てるシングルマザーだった。他ブランドの化粧品の代理店として、ホームエステをしながら商品を販売し、生計を立てていた。が、常に在庫を抱えなくてはならず、何かそれに代わる良いものはないかとアンテナを張っていた。そんな生駒さんにホームエステに来ていたお客さまが、スキンウォッシュとスキンマスクを教えてくれたのだ。

最初から乗り気だったわけではないが、その方の顔を立てるつもりで上位のマネージャーに会ったのだが、プランの説明を受けたとたん、気持ちが変わった。これはいいとピンと来たのだ。

すぐに自分でも商品を3つ購入して、会員登録し、マニュアルを読み込んだ。5千円、4千円、3千円、2500円とあるのを見て、2500円になるにはどうしたらいいんですか？といきなり質問して、「いえいえ、段階があるのよ」とマネージャーさんを半ば呆れさせたという。



「子どもたちが三人三様に独り立ちして、一番下の子は同居はしていますが自分のことは自分でしてくれるので、ほんとに自由です。だから誰かのお役に立てるなら、求められればどこにでも出かけていきたいと思っているんですよ」

「すぐになれないんだったら、段階を踏みましょうって(笑)」そして生駒さんは2週間でアース、5か月でジュピターと着実なステップを踏み、3年後にはマネージャーに昇格する。どうやったらそんなに順調に昇格できるのだろうと驚くが、彼女の考え方は極めてシンプルでありロジカルだ。

「まずアースになるには5人で30個必要。じゃあ10人に伝えて3個ずつ買って貰えばいいんだと考えて2週間でアースに昇格しました。次のジュピターは30人で200個必要。じゃあメンバーさん10人のうちの7人がアースになれば、それもクリアできると考えてこれも5か月後に達成しました」

ロジカルに考えるというだけでなく、それを確実に実行したところがポイントだ。

「それまでは商品を売り買いする代理店が仕事だったので、組織を作る、組織を広げるということがピンと来なくて。それでセミナーに出たり、ブラネットのところの勉強会に参加したりしながら、基本を抑えました。自分がランクアップしたら、下の方もランクアップさせることが大事なんだと分かって、ジュピターになってからはメンバーさんから毎年1人ずつジュピターに昇格させました」

それを支えてくれたのはメンバーさんたちだ。お金も大事だが、自分もメンバーさんも楽しむということをいつも大切にしてきた。

「いつかマネージャーに挑戦するというときにはメンバーさんにも無理をしていただかないといけないこともあると思っていたので、生活の全てをマナビスに向けて、奉仕の精神でやりましたね」

そしていよいよマネージャーに挑戦という時がやってきた。11年前のことだ。

「息子たちに宣言したんです。お母さん、やるからって。そしたら長男が『やめとけ』って(笑)」

長男が止めたのは、生駒さんは夢中になると、自分の体が疲れていることにも気づかず走り続けることを知っていて、母の体を心配したからだ。実際、無理がたたって1か月、入院したこともあった。でも次の春には長男は二十歳の成人式、次男は高校を卒業して就職し、車の免許が必要。三男は高校進学という大きな三つの節目を控えていた。

やるしかない、と生駒さんの気持ちは揺るがなかった。そして、上位をはじめ、メンバーさんみんなの協力を得て、無事にマネージャーに昇格したのはマナビスを始めてから3年後のことだった。

■父から学んだ人生の教訓

例えば、離婚して3人の子供と一緒に嫁ぎ先の大阪から宮崎に帰ってきたときには、このまま川に飛び込もうかと思ったこともあった。いろいろあり過ぎて人間不信も極まっていた。でも口数の少ない父親が、何も言わずただ一言「おかえり」と言ってくれたことが支えになった。

それから5年くらいして父親が亡くなり、その葬儀を見たとき、生駒さんは初めて父の偉大さに気づかされたという。

「頑固で静かな父だったのに、ものすごいたくさんの方が葬儀に来てくださったんです。それを見て、出会った人に対して、その人の望むことをどのくらい一生懸命にあげられるか。いつか自分がこの世からいなくなった時、自分の息子が、あああの生駒さんの息子さんね、って言ってもらえるだろうかって」

そんなこともあって生駒さんは騙すより騙された方がいい、裏切られても、裏切るよりはずっといいと思うようになった。馬鹿になろうと決めたら、そこからだんだん人生は好転していったと言う。それはきっとプライドを捨てると言うのではなく、プライドの持ち方を変えたということなのだろう。

「大変なこともありましたが、借金を抱えることもなく無事に、子供3人を独り立ちさせることができたのは全てマナビスのおかげ。力を貸してくれたメンバーさんへの感謝を返さないといいなと思って今も走り続けています」

長男は結婚して家建て、生駒さんにとっての孫も生まれた。次男はバーテンダーを目指して、東京の西麻布のバーに社員として勤めており、生駒さんの家には三男と一緒に暮らしている。息子たちは三人三様にそれぞれ自分の人生を歩みはじ



「コロナもいちおう収束したのでこれからはどんどんプチイベントを実現させたいんです。“遊ぶマナビス”という感じで、ハンドメイドのワークショップとウィッグの試着会をくっつけたり。町おこしにもつながると思うんです」

め、生駒さんは今、毎日が楽しくて仕方ないと言う。

■メンバーと一緒に考えて一緒に進む

ウィッグコンシェルジュの資格はもちろん、数年前には難関と言われるビューティアドバイザーの資格も3年越しで取得した。

「私、勉強嫌いだから、ビューティアドバイザーの資格は最初、拒んだんです。で、1回目は軽く見て失敗、2回目を受けた時も、まだなんでこんなことしなきゃいけないの？って思いながら受けたら、宮崎から3人受けに行って、私だけ落ちてガーン(笑)。暗い気持ちで1年越し、3回目。このとき後押ししてくれたのもメンバーさんたちでした。うちのグループにBAがいいたらみんなで活用できるから、生駒さん頑張って取ってくださいって。それでようやく本気になって、試験1週間前には誰にも会わず猛勉強。メンバーさんが大変だろうって、こっそり差し入れしてくれたり。受かったときは、学校の受験なんかよりずっと嬉しかった」

勉強嫌いとしららを評する生駒さんだが、コロナ禍を経て、保有する資格はさらに増えた。



この日の洋服もマナビスのメンバーさんが選んでくれた。何をするにもメンバーさんの後押しが、前へ踏み出す力になっている。メンバーさんを支え、メンバーさんに支えられ、生駒さんの人生はマナビスとともにある。



この日、待ち合わせしたのはマナビスの銀座サロン。都内でただ 1 人というビーナスマネージャーの本井真知子さんは、ページュと黒というシックな装いで現れた。よく通っているというフラワーショップの方が、この日のためにと用意してくれたミモザの花束が春の華やかさを添えている。

■マナビスにハマったのは「使うシーン」 「忙しい女性には気持ちをリセットする時間というのが必要で、それをお風呂で 5 分。この“使うシーン”を企画した人は天才！って思ったの。普通は洗面所で鏡に向かって使うでしょ？そうじゃなくて、お風呂で 365 日毎日ね。泡で優しく使ってみてからお断りしようと思ってたのに、ハマっちゃった（笑）どこにハマったと思います？」

使い始めてすぐだったから、まだ商品の良さまではよく分らなかった。本井さんがハマったのは使う場所、そのシーンだった。



毎晩、お風呂でスキンウォッシュとスキンマスクを使う。そのわずかな時間がリラックスとなり、リフレッシュになる。「このシーンを考えた人は天才！気持ちいいから自然に習慣になるでしょ」と本井さん。

で有名な温泉町である城崎出身の彼女が東京で経営者として独り立ちしたとき、本井さんはまだ 22 歳という若さだった。

■ 22 歳で東京でショップオーナーに

「上に姉と兄がいる末っ子で、なんの取り柄もなただ正義感だけが強いわんぱく坊主で育ったの。10 代の頃から、夢は自分で何かをすること。何かを作るとか、経営するとか。もっと広い世界をみるために、寮のある職場を探してお勤めを始めたの」

勤めた先は食品系の会社。最初はレジのチェッカーをやっていたが、しばらくするとその店の洋服売り場に初めてのブティックができて、そこに販売員として配属される。お勤めが終わって寮に帰ったら、3 人部屋の他の 2 人が寝静まった後、豆電球を使って夜な夜な人形を手作りして寮生にプレゼントしたりしていた。

あるときブティックに持っていったら、置いていいよと言われ、それを欲しいという人が現れた。今度は売っていいよと言われ、そのうちデザイナーの仕事の本格的にやってみないかとまで言われるようになった。

しかしちょうど同じ頃、東京で洋品店を営む姉に誘われて、就職したお店を 1 年半で辞めて、東京に出てゆく。その 2 年後、姉からお店を買い取って、わずか 22 歳でインポート・メンズ・セレクトショップの経営者として独り立ちするのだ。

「ブティックにいた時も、姉のお店でお手伝い

している時も、私ならこうするのになって、いろんな発想がめらめらと浮かんでくるの。でも店を買い取るに際してお金を借りることも初めてなら、経営も初めて。だから苦労というより、実践でものすごい勉強をしたんですね。メンズのインポートの高級服だったんですけど、仕入れたものがどれも見事に当たるんです。楽しかったですよ。経営は仕入れと在庫と利益のバランスを取らないとうまく続かないということも学びましたね」

ショップの経営は概して順調だったが、本井さんは時代の変化に敏感に感じ取ったのだろう、約四半世紀続いたショップを自らたたんだ。しかし本井さんのその才能を周りが放っておくはずがない。経営の腕を見込まれて、今度は宮内庁御用達の食品会社とのコラボで、デパートの食品売り場のコーナーを切り盛りする。ここでも本井さんは毎年のように、その年の売り上げを表彰するホームラン賞を受賞する。

「扱う商品は違ったけど、セレクトショップのやり方を取り入れたの。ダイレクトメールなどで常にコミュニケーションを取るのももちろんだけど、お客様の好みを知って商品を仕入れる。お客様のご要望を聞いて、例えばデパートを早く開ける交渉をしたり、お身体の悪い方は電車の乗り口までお届けしたりね。それで、とても良心的だとお褒めのお電話をいただいたりしました」

■ゼロからのリスタート

ところが。人生は分からない。世の中はバブルが崩壊し、本人曰く「ここで人生は急降下」する。取引先の問屋が相次いで倒れ、その煽りを受けた。どうしたらいいかと弁護士さんや会計士さんにアドバイスを受け、店舗の全てを精算した。

「ゼロ。負債のないゼロだったけど、もう背中をちゃんと押されたらバタンと倒れるぞってくらい頭も体も心も疲れ切ってた。今まで忙しい思いをしてこんなに頑張ってきたのに、こういう時にみんなすーって飛び込むんだって、実家に帰る途中の京都の駅でね。飛び込む方が楽だもの。でもその時にふっと風が吹いて我にかえった。まだ 46 歳で、死ぬにはちょっと早いし、やり直すにはちょっと遅いけど（笑）」

そして城崎の実家に帰った本井さんが出会ったのがマナビスだった。最初の 1 年くらいは自分で一生懸命使って、ちよろちよろっと誰かに伝えるくらい。あるときマナビスを教えてあげたお嬢さんが遠目で見ても分かるくらい、ゆで卵の剥き身みたいにきれいになっていた。それで今度はその方の義理のお母さんにお伝えした。

「義理のお母様は旅館の女将で時間はあるわけ。毎日、お風呂に入ってマナビスを使ったら、もう肌から髪からびかびかになっちゃって。足が悪くて歩けなかったのに、キレイになって嬉しく



最先端のものが集まる東京は何をするにも激戦区であることは間違いない。でも銀座サロンがあることは大きなメリット。本井さんは、銀座サロンをどんなふうに使えば効果的かを日々、考え中だという。

て、みんなに見せたかったのね。杖について狭い街の中を歩くようになったの。みんなに『あらーきれいになって。どうしたの？』って聞かれるたびに、『本井さんに教えてもらったの。あなたも教えて貰えば？』って。お嬢さんがキレイになったときもマナビスってすごいと思ったけど、歩けるようになった女将を目の前にしたときには、マナビスは人生を変えるものなのだと思った」

マナビスを伝えるということが結果的に本井さん自身の心のリハビリにもなり、伝えた人を徹底的にキレイにしようと活動するうち、気がつけばメンバーは 100 人を超えるまでに増えていた。そこで城崎をベースにして東京で活動することを決め、母を連れて再び東京へと向かう。

■甘えないという経営者としての矜持

「マナビスのシステムはとてもいいと思う。私は母の介護をし、家で看取りましたけど、マネージャーになっていたからその間も十分な収入がありましたし、ガンになって入院した時もお金に困らなかった。企業は社会に役立つものであり、自然環境も守るという会社の姿勢、そして何よりご縁を大切にするという理念も素晴らしい。マナビスはとても居心地がいいんです。だからつい甘えてしまう。そこが問題」

本井さんは、お金をもらうには努力が必要という基本を外さない。今の自分に何が必要か、常に考えている。東京に戻ってからはコーチングの資格も取った。それは介護にもビジネスにも必要なスキルだと思ったから。そのおかげでコロナ禍の前にすでにオンラインのミーティングなども使いこなせるようになっていた。

「最初、コーチングって、アタックナンバーワンだと思ってたの（笑）しごくほうね。でもコーチって本来、馬車を由来とする言葉だから、クライアントの行きたい方向へ導くことがコーチングの役割なのね」

時代は多様化しており、東京は中でも日本一の激戦区といって良いだろう。良いものはいくらでもあり、情報が溢れている。

「特に東京でマナビスを続けるためにはマナビスだけではなく、色々な勉強をして自分の器を広げて、レベルを高くしておくことがマナビス活動のためにも、人生にとっても大切」

目的と現状を線で繋ぎ、目的を達成するための目標を置いて、そこに向かう努力をする。

「SNS も使えないし、もう歳だからいいの、なんてそんなこと言ってもらえない。生きている限り、できることやらなきゃ」

本井さんの言葉は力強い。



銀座サロンのある並木通りに、洗練された出立ちで現れた本井さんは背筋がピンと伸び、まるで女優さんのよう。



マナビスは歳を重ねるほどに価値の出る仕事 きれいに生き切る自分でありたい

長田 美子さん

■ウィッグにはいろんな可能性を感じている

長田さんは昨年の 11 月、ウィッグコンシェルジュの試験に合格し、晴れて 3 期生としてデビューして、もうすぐ半年を迎える。1 期生でも 2 期生でもなく、なぜ 3 期生として試験に挑まれたのかとお聞きしてみた。

「ええ、そうなんです、自分でも思ってもみないことで。ヘアウィッグのコンシェルジュになるなんて、なんてことでしょうかしらね。私は必要ないですと何度も断ったんです。聞いても聞かないふりで、知らんぷりしてね。それでもプラネットが『長田さん、どう？ 受けてみない？』って何回もおっしゃるものだから、もう最後のご奉公かなと思って。ええ、もうほんとに大声で堂々と云えます。ご奉公ですよ（笑）」とユニークなお返事が返ってきた。

とは言え理由はどうあれ、受けると決めた以上、頑張るしかない。必死で勉強した。実技は会社が貸し出してくれたトルソーを使って自宅で練習し、時にはオンラインを活用して、プラネットからのアドバイスを貰ったりもした。

「この歳になって勉強っていうのはきついですねえ。苦しめられましたよ。試験問題もうまく作ってありますね。ひねくれ問題があるんですよ。会社の方もプラネットも心配されてたと思いますけど、あいにく受かったんですよ。なんてことでしょう（笑）」

本人曰く「いやいや資格を取ったのに」、取っ

てみたらすぐに 1 台、購入してくださる方が出て



ご主人亡きあと、2 人のお子さんを育て、義両親の面倒を見た長田さん。今は長男が同居、長女は道を隔てた目の前に家を見て、お孫さんが出入りする。そんな穏やかな時間を過ごしているという。

きで、今は納品を待つばかり。ヘアウィッグのことはこちらから話さなければ話題にはのぼらないが、話してみればいろいろなところで需要があるという手応えを感じているようだ。

長田さんは、2005 年にマナビス化粧品が設立されたと同時に他社からマナビスに移行し、すぐにマネージャーになったという。マナビスに“引越す”際にはもちろんメンバーの方々にお伺いを立てたが、ものすごい人数の人たちが長田さんと一緒に引越してくれて、その数はお

よそ 600 人にもなったという。

「時代もあったかもしれないけど、みんな一緒にきれいになろうねって、みんなの心が一つになった時だったかもしれません」と当時の移行のことを振り返る。

「私はね、どうせ使うならホンモノを使いたいと思ったんです。マナビスの商品は医薬部外品ですから、国で認定していただいているという安心感もありましたし、見た目も触った感じも他とは

違う。それにこれを使うと自分本来の肌に戻るとい

うことで、これしかないと思っていました。以来、

浮気もせずに使い続けています」

自分が見本だから、一生懸命使い、勧めた人にも

一生懸命お世話をした。72 歳という今もお肌は

艶々と潤っている。

■亡きご主人に言われたひと言を胸に

「きれいかどうか、これ以上もこれ以下もできません

のでね」と静かに笑う。長田さんは終始、穏やか

でお話もユーモラス。そこには苦勞の跡など微塵も

感じられないが、長田さんの人生にもやはり悲しく

辛いことはあった。マナビスの活動を始めて間も

ない頃、ご主人をなくされたのだ。

「もう癌の末期でしたので、病院で主人に付き

添っていますとね、どうして仕事に行かないんだ

って叱られまして、私は泣く泣く仕事に行くん

です。ゆくゆくは私 1 人になるから、主人は私の

仕事を心配してね、仕事頑張れって、そう言っ

て。お前の仕事は夢を売る仕事だから、きれいで

いろうというのが、主人の最後の言葉なんです」

長田さんご主人も当時 56 歳。2 人のお子

さんはすでに成人していたが、遺された長田さん

には一家の主として家計を支えなければいけない

事情もあった。「きれいでいろう」というご主人の

遺してくれた言葉を胸に、長田さんはマナビスの

仕事を続ける。ご主人の亡くなった年には海外への

褒賞旅行に招待されるような成績も残したし、そ

の後もただただ懸命に働いた。働きながら、同

居していた義父、そして義母を最期までお世話

し、今は一家の主の役目を長男が引き継いでく

れて、少し肩の荷を下ろしている。

「ご縁がありましてね、ここに来ちゃったから。

嫁入りしたら、そのうちの人間だそうなので、

だからこのうちの主になって家を守っていかな

きゃいけないらしいですよ（笑）」

庭には義父が植木屋さんに頼んで植えさせた

という松の木が今も立派な威容を誇っている。私

には松は必要ないですよと笑いつつも、長田さん

は今もこの松の手入れを怠らない。思い返すとマ

ナビスとのご縁も偶然で、まさか自分が美容の

仕事



立派な松は亡きご主人のお父上の遺したもの。「私が元

気なうちは大事にお世話をしていくつもり」と長田さん。

色を選んでもらっている。一色では面白くないか

らと、今日の長田さんの髪には上品なピンク色の

メッシュが入っていて、春の陽に柔らかく透けて

いる。長田さんは今、ウィッグは面白いなあと思

い始めている。ウィッグという商品の可能性に

気づいたのだ。

「私はマナビスで生きてきて、まあお肌も未だ

に褒められて、マナビスのおかげでこうなった

というのは事実ですので、歳を重ねれば重ねる

ほど見応えが出ますよね。きれいに生き切るとい

うにありたいですね」

■発信しなければご縁はつながらない

しぶしぶ取得したウィッグコンシェルジュの認

定資格だったが、今や長田さんはウィッグを付

けない日はない。人と会うたび、「私ウィッグし

てるのよ」と発信をして、付けたり外したりして

見せている。

「私は間に合ってるから必要ないって言って

ただけど、よく考えてみたら髪分け目も目立

つし、後頭部もべったんだし。ウィッグを付

けると後ろ姿が決まっちゃう。歳を重ねて、

メ

ガネも杖も必要で、自分では気づかなかっ

けど、ついでにウィッグも必要不可欠だった

んですね（笑）。」

長田さんは行きつけの美容室にもウィッグを

持って行って、美容師の先生にウィッグに合う

髪

髪を選んでもらっている。一色では面白くない

からと、今日の長田さんの髪には上品なピンク

色のメッシュが入っていて、春の陽に柔らかく

透けている。長田さんは今、ウィッグは面白い

なあと思

い始めている。ウィッグという商品の可能性に

気づいたのだ。

「私はマナビスで生きてきて、まあお肌も未だ

に褒められて、マナビスのおかげでこうなった

というのは事実ですので、歳を重ねれば重ねる

ほど見応えが出ますよね。きれいに生き切る

というにありたいですね」

■発信しなければご縁はつながらない

しぶしぶ取得したウィッグコンシェルジュの認

定資格だったが、今や長田さんはウィッグを付

けない日はない。人と会うたび、「私ウィッグし

てるのよ」と発信をして、付けたり外したりして

見せている。

「私は間に合ってるから必要ないって言って

ただけど、よく考えてみたら髪分け目も目立

つし、後頭部もべったんだし。ウィッグを付

けると後ろ姿が決まっちゃう。歳を重ねて、

メ

ガネも杖も必要で、自分では気づかなかっ

けど、ついでにウィッグも必要不可欠だった

んですね（笑）。」

長田さんは行きつけの美容室にもウィッグを

持って行って、美容師の先生にウィッグに合う

髪

髪を選んでもらっている。一色では面白くない

からと、今日の長田さんの髪には上品なピンク

色のメッシュが入っていて、春の陽に柔らかく

透けている。長田さんは今、ウィッグは面白い

なあと思

い始めている。ウィッグという商品の可能性に

気づいたのだ。

「私はマナビスで生きてきて、まあお肌も未だ

に褒められて、マナビスのおかげでこうなった

というのは事実ですので、歳を重ねれば重ねる

ほど見応えが出ますよね。きれいに生き切る

というにありたいですね」

■発信しなければご縁はつながらない

しぶしぶ取得したウィッグコンシェルジュの認

定資格だったが、今や長田さんはウィッグを付

けない日はない。人と会うたび、「私ウィッグし

てるのよ」と発信をして、付けたり外したりして

見せている。

「私は間に合ってるから必要ないって言って

ただけど、よく考えてみたら髪分け目も目立

つし、後頭部もべったんだし。ウィッグを付

けると後ろ姿が決まっちゃう。歳を重ねて、

メ

ガネも杖も必要で、自分では気づかなかっ

けど、ついでにウィッグも必要不可欠だった

んですね（笑）。」

長田さんは行きつけの美容室にもウィッグを

持って行って、美容師の先生にウィッグに合う

髪

髪を選んでもらっている。一色では面白くない

からと、今日の長田さんの髪には上品なピンク

色のメッシュが入っていて、春の陽に柔らかく

透けている。長田さんは今、ウィッグは面白い

なあと思

い始めている。ウィッグという商品の可能性に

気づいたのだ。

「私はマナビスで生きてきて、まあお肌も未だ

に褒められて、マナビスのおかげでこうなった

というのは事実ですので、歳を重ねれば重ねる

ほど見応えが出ますよね。きれいに生き切る

というにありたいですね」

■発信しなければご縁はつながらない

しぶしぶ取得したウィッグコンシェルジュの認

定資格だったが、今や長田さんはウィッグを付

けない日はない。人と会うたび、「私ウィッグし

てるのよ」と発信をして、付けたり外したりして

見せている。

「私は間に合ってるから必要ないって言って

ただけど、よく考えてみたら髪分け目も目立

つし、後頭部もべったんだし。ウィッグを付

けると後ろ姿が決まっちゃう。歳を重ねて、

メ

ガネも杖も必要で、自分では気づかなかっ

けど、ついでにウィッグも必要不可欠だった

んですね（笑）。」

長田さんは行きつけの美容室にもウィッグを

持って行って、美容師の先生にウィッグに合う

髪

髪を選んでもらっている。一色では面白くない

からと、今日の長田さんの髪には上品なピンク

色のメッシュが入っていて、春の陽に柔らかく

透けている。長田さんは今、ウィッグは面白い

なあと思

い始めている。ウィッグという商品の可能性に

気づいたのだ。

「私はマナビスで生きてきて、まあお肌も未だ

に褒められて、マナビスのおかげでこうなった

というのは事実ですので、歳を重ねれば重ねる

ほど見応えが出ますよね。きれいに生き切る

というにありたいですね」

■発信しなければご縁はつながらない

しぶしぶ取得したウィッグコンシェルジュの認

定資格だったが、今や長田さんはウィッグを付

けない日はない。人と会うたび、「私ウィッグし

てるのよ」と発信をして、付けたり外したりして

見せている。

「私は間に合ってるから必要ないって言って

ただけど、よく考えてみたら髪分け目も目立

つし、後頭部もべったんだし。ウィッグを付

けると後ろ姿が決まっちゃう。歳を重ねて、

メ

ガネも杖も必要で、自分では気づかなかっ

けど、ついでにウィッグも必要不可欠だった

んですね（笑）。」

長田さんは行きつけの美容室にもウィッグを

持って行って、美容師の先生にウィッグに合う

髪

髪を選んでもらっている。一色では面白くない

からと、今日の長田さんの髪には上品なピンク

色のメッシュが入っていて、春の陽に柔らかく

透けている。長田さんは今、ウィッグは面白い

なあと思

い始めている。ウィッグという商品の可能性に

気づいたのだ。

「私はマナビスで生きてきて、まあお肌も未だ

に褒められて、マナビスのおかげでこうなった

というのは事実ですので、歳を重ねれば重ねる

ほど見応えが出ますよね。きれいに生き切る

というにありたいですね」

■発信しなければご縁はつながらない

しぶしぶ取得したウィッグコンシェルジュの認

定資格だったが、今や長田さんはウィッグを付

けない日はない。人と会うたび、「私ウィッグし

てるのよ」と発信をして、付けたり外したりして

見せている。

「私は間に合ってるから必要ないって言って

ただけど、よく考えてみたら髪分け目も目立

つし、後頭部もべったんだし。ウィッグを付

けると後ろ姿が決まっちゃう。歳を重ねて、

メ

ガネも杖も必要で、自分では気づかなかっ

けど、ついでにウィッグも必要不可欠だった

んですね（笑）。」

長田さんは行きつけの美容室にもウィッグを

持って行って、美容師の先生にウィッグに合う

髪

髪を選んでもらっている。一色では面白くない

からと、今日の長田さんの髪には上品なピンク

色のメッシュが入っていて、春の陽に柔らかく

透けている。長田さんは今、ウィッグは面白い

なあと思

い始めている。ウィッグという商品の可能性に

気づいたのだ。

「私はマナビスで生きてきて、まあお肌も未だ

に褒められて、マナビスのおかげでこうなった

というのは事実ですので、歳を重ねれば重ねる

ほど見応えが出ますよね。きれいに生き切る

というにありたいですね」

■発信しなければご縁はつながらない

しぶしぶ取得したウィッグコンシェルジュの認

定資格だったが、今や長田さんはウィッグを付

けない日はない。人と会うたび、「私ウィッグし

てるのよ」と発信をして、付けたり外したりして

見せている。

「私は間に合ってるから必要ないって言って

ただけど、よく考えてみたら髪分け目も目立

つし、後頭部もべったんだし。ウィッグを付

けると後ろ姿が決まっちゃう。歳を重ねて、

メ

ガネも杖も必要で、自分では気づかなかっ

けど、ついでにウィッグも必要不可欠だった

んですね（笑）。」

長田さんは行きつけの美容室にもウィッグを

持って行って、美容師の先生にウィッグに合う



もっと知りたい話したい

アイテム解説

汚れや余分な皮脂を取り除き、うるおいはそのままに。
清潔な素肌美と肌本来のうるおいへ導く
マナビスのマストアイテム。

マナビス 薬用スキンウォッシュd

お声がけするときにちゃんと良さを伝えたいから、もっと知りたい
「どうしてそんなにきれいな肌なの？」と聞かれたら、しっかり話したい
そんなお声を受けて、アイテムを詳しく、わかりやすくお伝えします。

●お風呂上がりは油断禁物！

入浴すると水分が浸透して角質層が膨らみ、うるおった状態になりますが、お湯で皮脂などの保湿物質が流れ出て、お肌の水分を保てなくなります。お風呂上がりは 10 分も経つと、実はうるおいが奪われて過乾燥肌に陥ってしまいます。

●マナビスの考えるインバスケア

そこでマナビスでは、毎日のリラックスタイムであるバスタイムを、肌にとって一番大切なエステ時間と位置づけ、お風呂上がりの 10 分間でもうるおいをキープできるよう、インバスケアを「フェイスケア」「ボディケア」「ヘアケア」の 3 つの視点でとらえて、様々なアイテムを揃えています。「フェイスケア」では、洗顔時に汚れを落とし、素肌をリフレッシュさせる『マナビス 薬用スキン

ウォッシュ』と、お風呂上がりの素肌を乾燥から守り、うるおいでリラックスさせる『マナビス 薬用スキンマスク』のセットを用意しています。今回は、最初のステップ"洗顔"のマストアイテム『マナビス 薬用スキンウォッシュ』をご紹介します。

●なぜ毎日洗顔するの？

私たちが毎日当たり前のようにおこなっている洗顔ですが、なぜ毎日洗顔をしているのでしょうか。洗顔する一番の理由、それは「皮脂膜の汚れを落とし清潔な肌に戻す」ことが、肌にとってとても大切だからです。

皮脂膜は、毛穴から分泌された皮脂と、皮膚から分泌された汗が混じりあって、私たちの皮膚の表面を覆い、水分の蒸発を防いで素肌のツヤの元に

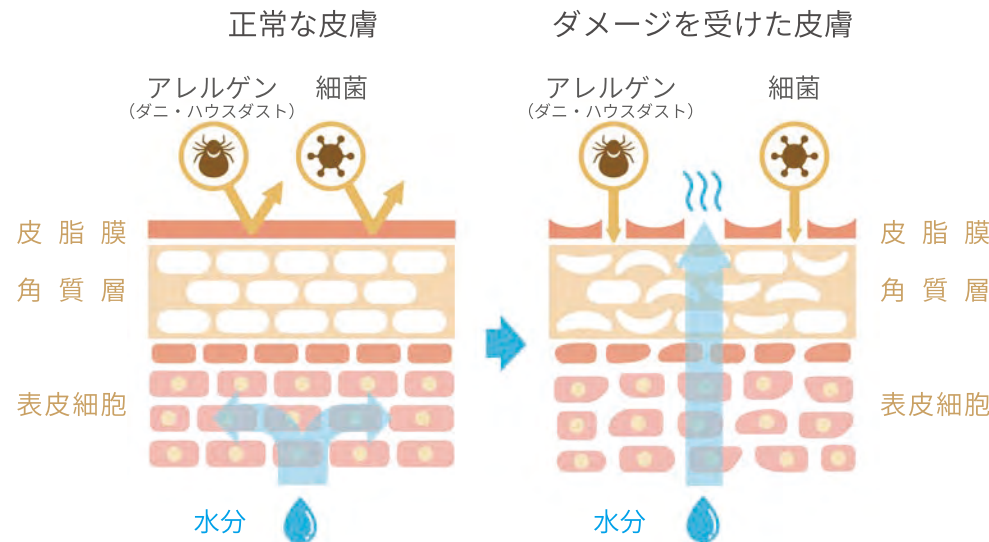
なっています。皮脂膜があるおかげで、皮膚の表面が滑らかに保たれ、うるおいが与えられています。まさに高級な天然保湿クリームといっても過言ではありません。ですが、皮脂膜はお肌の表面にあるため、ずっときれいな状態をキープできません。日中は空気中に浮遊しているホコリなどにさらされ、皮脂膜に汚れが付着してしまいます。また、メイクや日焼け止めなどをしていると、時間が経つにつれてそれらが皮脂膜と混じり合い、フレッシュな状態ではなくなっていきます。だから一日の終りの夜のバスタイムに行う洗顔はとても大切なのです。

では朝はどうでしょうか。朝の肌は汚れていないからと考えて洗顔料を使わない方、朝の洗顔は乾燥してしまうからしないという方も多いのではないのでしょうか。

実は人間は、寝ているあいだにコップ 1 杯分もの汗をかくといわれています。必要以上に分泌された汗は、皮脂膜にとっては不要なので残したままにしておくと、肌のバリア機能や保水力が低下し、毛穴が開き、キメが乱れるなど、朝のお手入れやメイクにマイナスに働きます。だから、朝も夜も、洗顔によって皮脂膜の汚れをしっかりと洗い流すことがとても大切なのです。

●洗顔こそがスキンケアの王道

実は百貨店の化粧品売場のスキンケアで一番売れないのが"洗顔"です。つまり洗顔の大切さをご存知の方はとても少ないのです。でも、いい洗顔をしないうくら高価な化粧水や美容液を使っても効果が実感できにくくなります。なぜなら「いかにいい状態で素肌が化粧水や美容液を受け入れ



る準備ができているか」は洗顔で決まるからです。いい洗顔を積み重ねることこそが、差のつくスキンケアへの外せない最初の一步なのです。

●アミノ酸系弱酸性であること

「汚れや余分な皮脂を取り除き、うるおいはそのままに。」これが『マナビス 薬用スキンウォッシュ』のコンセプト。私たちの皮膚を構成するタンパク質はアミノ酸が繋がってできている化合物なので、アミノ酸系にすることで肌との相性がとても良くなります。肌にやさしい洗顔とは、肌をこすって汚れを落とすのではなく、肌に付いた余分な皮脂や汚れを泡に吸着させて取り除き、洗い流すことです。汚れを吸着させるにはきめ細かな泡が適しています。

私たちの肌は弱酸性で健康な状態を保っていますので、非イオン性洗浄成分をバランス良く処方することで、洗浄力を保ちながらも肌と同じ弱酸性になるように作っています。肌との相性に配慮し、洗浄性能と肌への優しさを絶妙にバランスさせたジェル状せっけんなのです。

●"ジェル状"へのこだわり

一般的に、汚れを落とす洗浄成分には洗浄力が強いもの、殺菌力があるもの、肌に優しいものなど様々な種類があります。これらの成分はバランスよく処方しないと、カチカチになったりベタベタになります。また、処方によっては 40 度以上で液状になります。ご使用いただくとき、手のひらにジェルをのせてペースト状に変化させますが、人肌温度の約 37 度で柔らかいペースト状になるように処方されています。手で取りやすい硬さでありながら、手に取ると柔らかくなる"ジェル状"にすることで、使いやすさも両立させているのです。

本物のキレイを求めるなら"洗顔"にこそこだわっていただき、素肌美を手に入れる最初の一步としてお使いいただけるのが『マナビス 薬用スキンウォッシュ』なのです。

マナビス 薬用スキンウォッシュの特長成分



グリチルリチン酸ジカリウム

和漢植物であるマメ科の甘草（カンゾウ）の根に微量含まれる、医薬部外品抗炎症有効成分として厚生労働省に認められた成分です。抗炎症有効成分として、紫外線や乾燥、摩擦によるダメージから肌荒れを抑制する効果があります。また、細胞と細胞をつなぎとめて水分を保つセラミドの働きをサポートすることも解明されています。



ニンジンエキス

野菜のニンジンイメージするかと思いますが、高麗人参エキスです。高麗人参は健康食品や高級美容成分としても使われ、主に疲労回復効果に期待が持てることで有名です。美肌ケアに効果的といわれるのは、角質層のめぐりをサポートしたり、固くなった肌をやわらげ古い角質などの老廃物を取り除きやすい状態に導くからです。洗顔からめぐりをケアし、いきいきとした印象のお肌への近道になるのです。



オウゴンエキス

和漢植物としても有名なシソ科の植物コガネバナの根であるオウゴンから抽出したエキスです。PM2.5 や花粉などの大気汚染の環境ストレスや、紫外線などによる乾燥が気になる肌におすすめの保湿成分です。洗い流す落としものに配合することで、肌表面に付着した刺激の原因物質を取り除き、その後に使うスキンケアが、素直に肌で効果を発揮しやすくなる準備を行ってくれるのです。



海藻エキス (1)

海が育む天然の海藻には、コラーゲンや弾性繊維、ヌメリ成分が含まれており、うるおいを与えることでお肌のターンオーバーのサイクルを手助けしてくれます。肌の土台である角質層の乱れは、多くの皮脂トラブルの要因となるため、海藻エキス配合の化粧品を使用することで、トラブルの少ない肌づくりが可能です。



キューカンバーエキス (1)

キューカンバーといえぱきゅうり。昔からきゅうりのスライスを顔に貼ってパックをしていました。きゅうりにはひんやり感でほてった肌を冷やしてくれる効果の他、きゅうりに含まれる栄養素であるビタミンCによってハリを与え、肌を引き締める効果があるといわれています。水分量も多く、エキスとして配合することで、角質水分増加による保湿作用が期待できます。

これら以外にも多種多様なエキスを配合し"洗顔"の段階から美肌へのアプローチをおこなっています。美容成分の種類と的確に計算された配合によって体感を引き出し、洗いあがりのお肌はまるで美容液でお肌を整えたかのようにしっとりなめらかな仕上がりへ。1 ～ 2 分は肌にのせることになるので、これらのエキスの効果を毛穴から吸収し、角質層までお肌が整う期待がもてます。泡立ての際には、水分を少なめにして少し硬めの泡をお顔にのせて泡パックにするなど、お肌と向き合いたいときは使い方をアレンジしてお手入れを楽しんでください。

マナビス 薬用スキンウォッシュ ご愛用者の声

肌荒れせず、しっかり洗浄されている感じがした。泡立ちはコツを掴めば更にモチリとした泡にできるのかな…と思います。

何度か使用して泡がもちりにできるようになってからは感触が病みつきになって、使用するのが楽しみになりました。

潤いを残しながら、汚れをしっかりと落としてくれます。使い続けたいです。

洗い上がりが気持ちいいです。乾燥しやすい肌ですが、洗顔後に急いで化粧水を付けなくても大丈夫そうだったのが良かったです。

毛穴の中まできれいになったと感じています。古い角質や汚れなどのクスマが取れてトーンが明るくなりました。使ったその日にすぐ、これは違う！汚れがちゃんと落ちていて実感しました。

ニキビや肌荒れすることも無く使うことが出来ました。半固形せっけんは初めて使いましたが、泡切れも良く、すぐに泡立つので使い心地が良かったです。

洗ったあとも突っ張らないし、しっとりする。泡立ちが良くておちがいい。必ず頼みます。

市販のものと洗い心地が全く違うので気に入っています。

洗い上がりはなめらかな印象。 敏感肌なのですが、あまり刺激が強くなく、肌がつっぱることもありませんでした。

よくなりました。ぼそぼそがなくなって、つるつるになってきました。

(※すべてご愛用者様個人の感想です)



エコでお得フローラ大感謝祭

2023年2月1日 / 2万個限定！特別価格

Flora Skincare Oil

マナビス フローラ スキンケアオイル
【オイル状美容液】

商品番号 151 内容量 40g 実績数 1
使用量 顔からデコルテまでで1プッシュ程度

(例)アースランクの場合

ランク別
通常価格 ~~5,145円~~ (税込) ▶ ランク別
キャンペーン
価格 **3,675円** (税込)

価格 ポイント	F	5,250円 (税込)	／	53ポイント
	U	4,200円 (税込)	／	42ポイント
	E	3,675円 (税込)	／	37ポイント
	J	3,150円 (税込)	／	32ポイント
	V	2,625円 (税込)	／	27ポイント

- お一人様何度でもお求めいただけます。
- キャンペーン対象：151 フローラ スキンケアオイル 152 フローラ サプリメントベーシック(箱入り) 153 フローラ サプリメント ベーシック<詰め替え用>
- ご注意：150 フローラ ファーストセラムは対象外です。キャンペーン価格につき、ランク別通常価格時と実績数が異なります。

Flora Supplement Basic

マナビス フローラ サプリメント ベーシック
(箱入り)<詰め替え用>【乳酸菌含有食品】

商品番号 箱入り152・詰め替え用153 内容量 60粒 実績数 1
使用量 1日2～4粒が目安

(例)アースランクの場合

ランク別
通常価格 ~~7,350円~~ (税込) ▶ ランク別
キャンペーン
価格 **4,800円** (税込)

価格 ポイント	F	6,000円 (税込)	／	60ポイント
	U	5,100円 (税込)	／	51ポイント
	E	4,800円 (税込)	／	48ポイント
	J	4,500円 (税込)	／	45ポイント
	V	4,200円 (税込)	／	42ポイント

〈ご注文方法〉

電話 | **0800-222-0510** | FAX | **0120-269-510** | 会員サイト | <https://www.manavis-cosme.co.jp/>
9:00~16:00 (土・日・祝日休)



〈お問い合わせ〉

商品相談 | **0120-649-510** | その他 | **0120-268-510** [ルール・プログラム・各種セミナー]
9:00~17:00 (土・日・祝日休) 9:00~17:00 (土・日・祝日休)

ご注文・お問い合わせに関する通信料はすべて無料です(携帯電話からもご利用可能です)